

## 職務経歴書

### 職務経歴

#### ■株式会社×××

2006年4月～2009年9月

業種: 化学・素材

雇用形態: 正社員

#### 【概要】

入社以来3年間、エンジニアとして化学製品製造プロセスにおける生産性改善、新規材料導入によるコストダウン、および既存プラントの改造、新規プラントの導入による生産性向上、廃棄物のリサイクルプロセスの構築などに携わってまいりました。

#### 【業務内容】

##### ■成果①: 不良在庫削減プロジェクトリーダーとして貢献

2008年4月～2008年11月

メンバー数: 7人

役割: リーダー

大きな問題は必要な情報が必要な人に伝わっていないことでした。そこでまず情報の整理・一元化を行うことで問題点を明確にしました。関係者全員に現状把握してもらい、次に具体的対策を決定して実行していくことにより半年間で約3000万円の不良在庫削減に成功しました。部門間で異なっていた問題意識を統一し、それぞれの立場に立って納得させることができたからこそ一つのチームとして機能したのだと思います。私は、強力なリーダーシップをもって強引に推し進めるのではなく、メンバーの考えを理解して同意を得ながら、プロジェクトをリードしていきます。

##### ■成果②: 不良品発生の原因解明

2008年10月～2009年3月

10年来不明だった不良品発生の原因究明を一任され、基礎的な実験を重ねて原因を突き止めることができました。先入観なくゼロから考えたことが奏功したと思います。固定概念に捉われず新しい視点から物事に取り組むことを得意としています。

##### ■成果③: 海外新規プラント立ち上げ

2009年4月～2009年8月

言葉も文化も異なるため、技術指導を始めた当初は伝わらないことが少なくありませんでした。日本の製造スタッフとの接し方を適用しても有効ではないと、すぐに方針を切り替え、業務に関わらないところからコミュニケーションをとりはじめ、技術については私自身が行動で示すことで、熱意とともに伝えることができました。1ヵ月程度でしたが、終盤には、スタッフから改善についての提案が出てくることもありました。

#### ■株式会社×××

2009年10月～現在

業種: 化学・素材

雇用形態: 正社員

#### 【概要】

エンジニアとして、化粧品や生活用品の材料となる化学製品の製造プロセスにおける生産性改善、新規材料導入によるコストダウン、生産性改善、既存プラントの改造、新規プラントの導入による生産性向上に携わってまいりました。

## 【業務内容】

### ■成果①:不良率の抑制

2011年10月～2012年12月

メンバー数:5人

役割:サブリーダー

対象製品は生活用品の原料ゆえに、設定されている規格が多くかつ厳しかったため不良率が高いことが問題でした。まず、規格の内容を精査し、どの不良率が最も高く、その規格をはずすとどのような影響があるのかを明確にしました。次に、不良率と影響の大きさから解決していく優先順位を決定し、基礎実験を行いました。その結果、一つの不良を改善することで複数の不良がなくなること、相反する規格が存在していたことなどが分かりました。そこで、営業、物流、品質保証部門を巻き込み、必要な規格を再設定しました。エンジニアとしてクライアントにも直接説明する機会をいただき、規格を緩和するのではなく、無駄なものを廃止したこと、その規格を通った製品は、現行の合格品と変わらない品質を持つことを納得していただくことができました。これにより、不良率は30%以上抑えられ、年間400万の利益を出すことに成功しました。現在も、品質向上とコスト削減の切り口として、このような規格の見直しを横展開しています。

### ■成果②:間接設備の改造による製造ライン効率の改善

2010年4月～2010年10月

メンバー数:5人

役割:リーダー

間接的な製造設備の改造を行い、年間500万円の利益を出すことに成功しました。生産量が大きくインパクトが大きいラインだったため、なかなか改善できずにいました。そこで、各所のデータ取りから始め、間接設備の性能悪化が本製造ラインに悪影響を及ぼしているという仮説を立てました。生産性との関連を示したプレゼンテーションを行いました。すぐに元の状態に戻せる設計にしたこともあり、予算の獲得に成功し、行った設備改修の結果、生産性を大きく向上させることができました。

## 保有資格・スキル

- ・Microsoft Word(ビジネス文書作成), Excel(Vlookup, ピボット, グラフ), PowerPoint(プレゼンテーション)
- ・日常業務における英語でのレポートアウト、メールのやりとり、電話会議
- ・プログラム立案、業者とのやりとり、納期調整、見積書・発注書・契約書の作成

## 自己PR

新卒で入社した化学メーカーおよび、転職した化学メーカーでは、合計6年間にわたり、エンジニアとして既存設備改善・新規設備導入、基礎実験などに携わりました。新しいプロジェクトに関わる時、私は「そもそも」の原因を考えることにしています。当たり前に戻されている作業も、改めて調査すると、理由が不明確または不要のことがありました。問題解決には、「そもそも」なぜ必要か?と一から見直すことが近道だと考えています。

また、製造部門として改善案を出しても、関係者の利害が一致せず難航することがありました。どんな仕事も、一部門で、ましてや一人で完結するものではありません。ごく基本的なことですが、メンバー同士がお互いの立場を理解して、全員が同じゴールを目指すことで、仕事は前進するものと考えています。ですから、少し遠回りに見えても、このプロセスでプロジェクトを進めることにしています。

これらの業務の進め方は、どの職種についても生かせるものと考えております。一度面談の機会をいただければ幸甚です。

以上